

あけましておめでとうございます。昨年は、どんな年でしたか？我がシミドは、発明研究会や自費出張セミナー（名古屋・川崎など）を通じて新入会員の方々とお友だちになったり、ハーフの孫（娘の夫がケベック出身のカナダ人）が生まれフランス語を始めたりと公私ともに、あっという間の1年でした。新しい年間手帳は、今年からサイズを少し大きくして高橋書店の「シャルム3」（仏語の charmant = 魅力的なが由来だそうです）にしました。今年2017年度も、健康第一で魅力的な1年にしたいものですネ！私たちの動物医療発明研究会が、ひと味ちがう人生のお役に立てるよう、今年も皆さまに原稿・情報・アイデア等をお寄せいただきながら、共に歩みたいと思いますので、どうぞよろしく。 SAMI事務局



NEWS 2016.7.16~17

SAMI 副会長 中山 正成

奈良公園で「第42回 獣医神経病学会」を開催しました



「奈良で学会を開催しませんか？」と諸角会長から声を掛けられた時、すぐに学会場の建物が頭に浮かんできました。美しい芝生が広がる奈良公園の中にある「奈良春日野国際フォーラム・薨・IRAKA」です。寺社のような瓦ぶきの屋根の立派な建物で500名収容の能楽堂があります。能楽堂で講演、発表してもらえばインパクトのある学会に出来ると思い、ふたつ返事で「やりましょう」となりました。

教育講演は、獣医神経病学会の徳力幹彦初代会長に「神経生理学の基礎と歩行運動の神経制御」について枠を取りました。人の方での脊椎脊髄外科の最先端を聞きたいと思い、京都大学医学部の藤林俊介教授に「脊椎脊髄外科の現状と展望：動物医療とヒト医療の融合」と題して講演をお願いしました。

ここまでは通常の学会のプログラムの流れですが、折角奈良に来て下さる参加者に楽しんでもらおうと考えました。会場が東大寺の境内にありますので、古い友人の東大寺のお坊さんのお話はきっと面白いのでは思い、1時間の予定でお願いしましたところ「獣医学の

学会で私が話しても良いのかな」と言われながら、1時間半時間を下さいと言われました。これはやる気があるなど自信を持ってました。さらに、「東大寺の境内を特別に案内していただけますか」と伺いますと「ああ、いいですよ」と簡単に引き受けていただきました。

「江戸時代の東大寺再建物語」と題して平岡昇修住職から東大寺にまつわる多くの秘話をお聞きしました。その後、東大寺特別拝観では立ち入りが禁止されている場所を案内していただき詳しい説明がありました。暑い中、参加者は108名で、大仏様に触ったりして感激していました。まずは参加者を喜ばすアイデアの勝利です。(続)



東大寺大仏殿 108名 特別拝観



庭園で懇親会 乾杯！ 諸角会長

獣医神経病学会2016

2016年7月16日(土)～17日(日)
奈良春日野国際フォーラム館～I・RA・KA～



後援 奈良県獣医師会
大会長 中山正成



次のアイデアは、懇親会を会場の庭園で行うことにしました。雨が降れば室内で行うと決めていましたが天候に恵まれました。美しい芝生の上で、そよ風の中会食しました。庭園で懇親会を開催することは滅多にありませんので、参加者はよく飲み、よく食べ、よく話しました。

二次会は、私の行きつけのお店の名刺を受付に束ねて置いておいたところ94名が集まりました。店の女将はびっくりしていましたが、嬉しそうに接待してくれました。

2日目の朝、奈良市の風物詩である「鹿寄せ」に参加しました。奈良公園「飛び火野」の中の大きな樟の下で鹿の愛護会の方が、ホルンを吹きますと鹿の群れが走ってきます。あっという間に100頭くらい集まったでしょうか、どんぐりを貰っていました。このときNHKが大きなビデオカメラで撮影していて、夜放映されたようです。参加者は、学会始まって以来最高の200名以上でした。

この度の学会では、最先端の学術発表と共に、東大寺の秘話、庭園で懇親会、「鹿寄せ」など奈良の魅力を堪能していただいたと思います。主催地の特徴を生かしたイベントを盛り込むなど、たまにはこんな学会もありかなと思っています。今回は、文化的にも楽しめる学会にしました。

学会後、多くの参加者から「良かったよ、面白かった」とメールなど頂きました。アイデア満載の学会になったと大会長として胸を撫で下ろしています。



庭園で懇親会～お月さんも出てきました

アドバイス・アイデアの宝箱



いい獣医さんに会いたい!

西山ゆう子先生

読みやすく、面白くて、ためになって、ほんとほんと!と納得づくめで、オススメです。獣医師と飼い主さんとの関係は子連れで再婚する夫婦ようなもの、この発想に脱帽。読めば読むほど、笑っちゃうほど同じようなことがいっぱいあって、共感です。さらっと読めて、奥が深く、中身が濃くて、私たちもだけれど、飼い主さんにも、読んでもらいたいコミュニケーションの真髄を得た素敵なお本です。

* ポット出版プラスさん発行で 1200円 (プラス税)

来年の一月に、病院ができれば、遊びに行きたいなあ～ 宏子。

動物とのふれあいが子供や高齢者に与える影響と具体的効果

大阪の動臨研で山根義久先生の楽しい話を聴きました。動物(人も)をなでたり、抱いたり、見つめたりしているとお互いにオキシトシンというホルモンが出て絆が強くなったり、気持ちが幸せになったり、いやされたりするそうです。オキシトシンが出ると、脳の分泌(ストレスの緩和)セロトニン(精神を穏やかにする)、ドーパミン(やる気・元気)も刺激されるそうです。動物病院が元気の発信源になれると世の中も活気が出てくると思うのでみんなで楽しく頑張りましょう。





誠心誠医・創医工夫

クリスマス・お正月 待合室の飾り付け

希望の丘どうぶつ病院 山口 潤先生

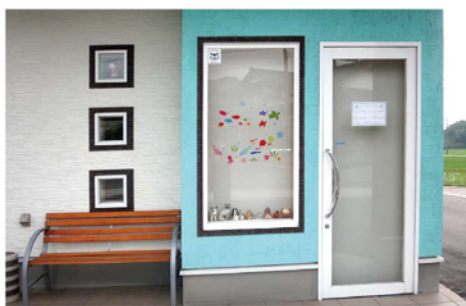
第12回日本獣医内科学アカデミー学術大会(JCVIM2016)での講演、「新規開業をアイデアで乗り切る」の内容の一部を抜粋しています。今回はクリスマス・お正月シーズンということもあり、当院で行っている待合室の飾り付けをご紹介します。

まず季節ごとにおこなっているのが、窓ガラスに貼付けることのできる装飾で、ジェルジュエ(写真下)というものを使っています。11月～12月はクリスマス、1月～2月は正月飾り、3月～5月は桜、6月～8月は海の生き物、9月～10月はハロウィンと、年に5回付け替えています。このくらいの変更でしたら、スタッフの少ない当院でも気軽に季節感を出した演出ができます。

また、毎月のお知らせ(歯科月間のお知らせなど)を待合室に立てかけているスタンド黒板に書いています。こちら、大きな手間がかからないわりに、見栄えが良く、伝えたい情報を見てもらいやすいと思います。(写真右上)

インターネットやデジタル機器による情報の発信が進化している昨今では、このような『昭和の文化祭』的な飾り付けは軽視されがちですが、時代は変わっても、待合室で直に目にするものの重要性は変わらないと思います。まず簡単などころから始めてみてはいかがでしょうか？

余談ですが、当院では、クリスマスにスタッフに保湿グッズをプレゼントしています。皆様も手を荒らしながら頑張ってくれているスタッフに、クリスマス&お年玉プレゼントなど、どうでしょう。



ひらめきの種を探しに金沢へいらっしゃいませんか？

今年2月に獣医学術学会年次大会が金沢にて行われます。カラーゲンペチドの応用、獣医療における新しい消毒資材など、新しい発明のにおいのするシンポジウムも開催されます。また、江戸時代の発明家として有名な大野弁吉のからくり記念館も金沢にあります。冬の兼六園も魅力的です。そして、北陸は「蟹の季節」です。リフレッシュを兼ねて、ぜひとも金沢へ!



平成28年度日本獣医師会
獣医学術学会 年次大会
2017年(平成29年)
2月24日(金)～26日(日)
金沢の4会場にて開催!

石川県立音楽堂・金沢市
アートホール・ホテル日航金沢
ホテル金沢
お問い合わせ/日本獣医師会まで

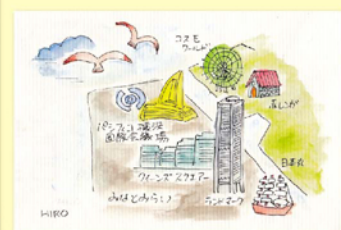


第13回 日本獣医内科学アカデミー学術大会 2017年(平成29年) 2月17日(金)～19日(日) パシフィコ横浜にて開催!

毎年好評～我が動物医療発明研究会から今回はスピーカー2名が講演。ぜひ、横浜へ足をお運びください。
『伝えたい!先輩Vetのチエとワザ』中山 正成先生
2月18日(土) 15:45～16:30 第4会場
『ウサギに優しい超音波検査(保定と検査のアイデア)』清水 邦一先生
2月19日(日) 13:15～14:00 第12会場



お問い合わせ/
日本獣医内科学アカデミー
学術大会事務局まで



★ニュースレターに同封したい「チラシ」のご案内★

日頃は発明研究会の趣旨にご賛同頂き、大変お世話になっております。動物医療発明研究会・事務局「発送係」の工藤です。

発明研究会のニュースレターは年2～3回発行予定です。貴社にて「ご案内」の同封ご希望がございましたらA4サイズで2枚までOKです。素晴らしい情報や製品を会員の先生方にご紹介頂ける良いチャンスです!

*発行部数は100部です。SAMI事務局「清水動物病院宛」に、発送協賛料として切手1,000円分(100円x10枚など)を同封の上、郵送してください。または、清水動物病院まで直接ご持参をお願いします。

工藤 美保(株式会社 V and P)

ニャンコのつぶやき

二十一年のトラバアチャン
近づいただけでビャービャーといじめてなんかいないんだ
ただ一緒に遊んで欲しいだけ
うっとうしいのかな...



ゴースト
9

佐藤大猫病院(三郷市) 佐藤 剛作

ワンコのつぶやき

鼻の長いこ 短いこ
肢の長いこ 短いこ
それでも一緒に
ドッグラン
楽しいな



【新入会員・自己紹介】



安田 幸弘 先生 やすだ動物病院

(北海道北広島市)

1971年生まれ 帯広畜産大学卒業
卒業後、道内の苫小牧市にて

6年半の代診を経て開業。開業して13年になります。



☆ポリシー

1次診療中心の地域のホームドクターを目指しています。病気のための治療ではなく、動物と飼い主様のための治療を心がけています。(特に高齢動物の治療やターミナルケアにおいて)

☆過去の発明・発見・アイデア自慢

100均の小さい棚を50個くらい繋げて、薬品棚にしたことぐらいです。

☆そのきっかけ生まれた理由

開業時で資金不足のため、高い薬品棚を購入することもできず考えました。

☆皆に役立つ失敗談

小さい病院ですので、お薬やその他備品の発注も自分が行っています。以前コピー用紙「500枚入り・20束」を注文するつもりが「500枚入り・20束・20箱」を注文してしまい待合室がダンボール箱だらけになってしまったことがありました。それ以来、スタッフに確認して

もらってから注文することになっています。

☆これからやりたいこと目標

地域の動物と飼い主様のために「ジェネラリスト」の「スペシャリスト」になりたいです。そのため、広い範囲での勉強や、新しい情報の収集、治療の幅を広げることに、力を入れていきたいです。また、アメリカンフットボールが好きなので、将来アメリカで「スーパーボウル」を観戦するのが夢です。

☆今、夢中になっていること、取り組んでいること

昨年より中獣医学を学んで、診療に取り入れています。これまで西洋医学中心で診療をしてきたので、違う視点から見えることがあることに気づかされました。動物医療発明研究会に入会させていただきましたので、もっともっと広い視野を持てるようにしたいです。

☆発明研究会の皆様へ伝えたいこと

若輩者ですが、よろしくお願ひします。清水邦一先生・宏子先生とご縁があり、入会させていただくことになりました。「あの日、あの時、あの場所」でお会いしなければ、入会することはなかったと思います。「ご縁」というものを大切にしていきたいです。



100均の小さい棚を50個くらい繋げた薬品棚

☆発明研究会で自分がやりたいこと発表したいこと

まずは、会員の皆様のアイデアを学びたいです。



夢がある
こころがある
あはれ
ぬくもりに
ことばが
ばに

清水宏子の五行歌

新入会員

安田 幸弘先生 / やすだ動物病院(北海道北広島市) 動物と飼い主様のための治療を心がけています

動物医療発明研究会のホームページ。会員病院の登録もできます。

hp@ispecial.co.jp



会員の病院・施設名、郵便番号住所、TEL&FAXとホームページアドレスを掲載します。ご希望の場合は、「SAMI-HP掲載希望」と明記して、データをメールにて、上記アドレスまでお送りください。

(運営受託：株式会社アイ・スペシャル)



動物医療発明研究会事務局ではお役立ちのアイデアやエピソードを随時募集しています。メール、FAX、郵便でも受け付けていますのでお気軽にお寄せください。

SAMI NEWS 45号 発行日：2017年1月吉日

発行所：動物医療発明研究会事務局

発行人：会長 清水 邦一 / 編集人 野間 忠博

事務局：230-0061 横浜市鶴見区佃野町3-3 清水動物病院内

メール：sah@vet.ne.jp

FAX：045-583-3594 (電話：045-583-3738)